

日本パラ水泳連盟アンチ・ドーピング委員会

アンチ・ドーピング関連資料一覧A (2026年1月1日から2026年12月31日まで有効)

2026禁止薬物リスト

[国際基準](#) | [日本アンチ・ドーピング機構](#) | [Japan Anti-Doping Agency \(JADA\)](#)



毎年禁止薬物は変わりますので、確認をしましょう。

国内最高レベルの大会

[2025年度 国内最高レベルの競技大会](#) | [日本アンチ・ドーピング機構](#) | [Japan Anti-Doping Agency \(JADA\)](#)



このリストに掲載された大会

- ・2026ジャパンパラ水泳競技大会
- ・第43回日本パラ水泳選手権大会
- ・2027日本パラ春季チャレンジレース

に出場する際、禁止薬物を使用している場合は国内TUEの事前申請が必要になりますので、確認してお行きましょう。

ドーピング検査の手順

[尿検査の手順 \(ステップ\)](#) | [JADAクリーンスポーツ・アスリートサイト](#)



大会前には必ず確認しましょう。

[血液検査の手順 \(ステップ\)](#) | [JADAクリーンスポーツ・アスリートサイト](#)



大会前には必ず確認しましょう。

4月1日から待機時間が2時間から1時間に変更

日本パラ水泳連盟アンチ・ドーピング委員会

アンチ・ドーピング関連資料一覧B (2026年1月1日から2026年12月31まで有効)

JADA重要なお知らせ履歴

「2022年禁止表 糖質コルチコイド」について



2022年からの糖質コルチコイドの局所注射が禁止になりました。変更点とウォッシュアウト期間（体内に吸収された薬物が排出される期間）について動画で学べます。

アンチ・ドーピングとサプリメント



現在、サプリメントが原因と言われるアンチ・ドーピングのルール違反が、日本を含め、世界中で報告されています。サプリメントや栄養ドリンクについて、今一度確認しましょう。

禁止表国際基準にもとづいた薬の検索サイト



「特定地域で生産された食肉に関する注意喚起



中国・メキシコ等では食肉の肥育で禁止物質が使用されていることがあります。食肉から禁止物質を体内に取り込んでしまうこともあるため、海外渡航時には注意が必要です。

トラマドールに関する注意喚起



2025年、痛み止めのトラマドールについて変更点があります。注意しましょう。

糖質コルチコイドの競技会時の口腔内局所使用の禁止



糖質コルチコイドの「口腔内局所使用」は、競技会（時）に禁止されます。「口腔内局所使用」の例として、口腔軟膏、口腔内局所貼付剤などがあります。注意が必要です。

全般

アンチ・ドーピング規則違反

<https://www.playtruejapan.org/code/violation/>



アンチ・ドーピング規則違反についての内容です。競技者をサポートするスタッフの方も一読お願いします。

TUE申請の流れ



治療使用特例(TUE)の申請方法は競技者のレベルによって異なります。競技会の直前に慌てて申請することのないように、事前に確認しておいて下さい。申請書もこちらからダウンロードできます。

TUEチェッカー

https://www.realchampion.jp/checker_tue/



TUE申請は、アスリート・カテゴリーにより、申請のタイミング・申請先が異なります。「TUEチェッカー」はアスリートための確認フローチャートです。

薬剤師会ドーピング防止・ホットライン



薬剤師会の薬の相談窓口の連絡先です。

世界パラ水泳連盟におけるアンチ・ドーピング



世界パラ水泳連盟のアンチ・ドーピングについてのルールが記載されています。英語表記ですが国際大会出場者をご理解をお願いします。

そのほか

日本スポーツ協会使用可能薬一覧



禁止物質を含まない一般用医薬品（市販の薬）の例が掲載されています。他にも使える薬がありますので、不明な場合はお問い合わせください。

スポーツファーマシストを探す



こちらのサイトで検索できます。
<https://www3.playtruejapan.org/sports-pharmacist/search.php>

女性アスリートおよび関係者の皆様へ



日本スポーツ協会のHPに女性アスリートのための内容が掲載されています。参考にしてください。

薬の問い合わせ(JPSF会員専用)



JPSF競技会会員の方で、使用している薬物がドーピング禁止薬かどうか分からない場合のこちらのグーグルフォームからお問合せ下さい。